

2006年9月～2007年8月

# 滋賀大学経済学部漕艇部大学56期戦績報告



## 第 17 回関西学生秋季選手権(加古川レガッタ)

会期:平成 18 年 11 月 3(金)~5(日)

会場:加古川市立漕艇センター前 特設コース

主催:加古川レガッタ実行委員会

主管:関西学生ボート連盟 兵庫県ボート協会



### 成績

男子対校エイト 準優勝

男子舵手つきフォア 準決勝進出

女子対校シングルスカル 第 4 位

女子 2nd ダブルスカル 第 5 位

女子 3rd ダブルスカル 順位決定進出 第 7 位

男子対校エイト(8+)		
'Autostrada'		
Cox	森見 俊介	3
整調	中村 新吾	3
7 番	古川 卓哉	5
6 番	渡邊 訓明	3
5 番	桑原 義章	2
4 番	君島 和弥	2
3 番	辻 剛平	1
2 番	石田 将之	2
パウ	立道 晃樹	3
staff	河辺 栄治	3

男子舵手つきフォア		
'Green Beret'		
Cox	山島 知久	4
整調	田伏 俊英	1
3 番	古河 秀晃	1
2 番	新屋 雄基	1
パウ	根本 雅之	1
staff	がけ由布子	2

女子 2nd ダブル		
'戴天'		
整調	大山 順子	2
パウ	山口さおり	3
staff	藪内 佑紀	2

女子対校シングル		
'White Wind'		
整調	小南 文香	3
staff	根来 布美	3

女子 3rd ダブル		
'Limited'		
整調	木下 絢子	1
パウ	百済 歩	2
staff	粉川 智広	3



## 平成 18 年度 関西学生秋季選手権大会 タイム詳細

### 男子対校エイト

11月3日 M8+ 予選

クルー名	着順	2000m
岡山大学	2	6 22"35
関西大学	3	6 27"55
滋賀経		6 13"34

11月5日 M8+ 決勝

クルー名	2000m	結果
岡山大	6 21"82	第3位
立命館	6 07"00	優勝
滋賀経	6 13"51	準優勝
関西学院	6 29"64	第4位



秋季練ではシーズンの反省を踏まえ各人エルゴタイムを伸ばし、ベストを出せるようにしてきましたが、レース結果は惨敗となってしまいました。そこではやはり地力の違いが出たものと思います。朝日レガッタまでの長い冬季では、来シーズンの最終目標インカレ決勝に向け、日々自分達の中で細かく計画をし、練習を進めていきたいと思ひます。勝ちに対して貪欲に、かつ埋めることのできなかつた地力の差というものを無くすためがんばっていきたくと思ひます。 6番 3回生 渡邊 訓明

### 女子2ndダブルスカル&女子3rdダブルスカル

11月3日 2× 予選

クルー名	着順	2000m
大阪府立		8 41"06
岡大「覇月」	3	9 11"15
滋賀経 B		8 56"92

11月3日 2× 予選

クルー名	着順	2000m
滋賀経 A		8 40"78
関西学院大	3	8 56"03
岡大「操」		8 48"85

11月4日 2× 準決勝

クルー名	着順	2000m
滋賀経 B	4	8 27"51
神戸大		7 53"20
滋賀経 A	3	8 23"70
滋賀教		7 59"82

11月5日 2× 順位決定

クルー名	結果	2000m
滋賀経 B	第7位	9 13"92
岡大「操」	第6位	9 03"91
滋賀経 A	第5位	8 59"15
滋賀教	第8位	9 15"91



大学56期が始動し早四ヶ月が経とうとしていひます。気持ち新たに生活の大半以上を勝つための練習に打ち込んで加古川レガッタに挑みまひました。結果的には入賞だけで目標としていたメダル獲得はなひませんでした。しかし、反省することで試合に勝つために足りないものを確認できました。冬季練ではこの試合をふまえ試合に勝てる練習を意識していひます。そしてより団結を強めたボート部を目指していひたいと思ひます。 バウ 3回生 山口さおり

加古川では少しでも速く漕ぎ、もう一つのダブルに勝ちにいこうと考えて、他のクルーよりもエルゴに多く触れるようにしてきました。結果としては満足のいく出来ではありまひませんでした。冬季でもしっかり持続していければ来シーズンではそれなりの結果は望めるかもしれまひません。しかし、その伸びたベストをさらに伸ばすことによつて、全国の舞台上で戦えるように頑張っていひたいと思ひます。 バウ 2回生 百済歩

女子対校シングルスカル

11月3日 1× 予選

クルー名	着順	2000m
小南(滋賀経)		9 33"36
門脇(山口大)		棄権
小田(神大A)	2	9 44"81

11月5日 1× 決勝

クルー名	結果	2000m
三谷(龍谷A)	優勝	9 35"51
櫻井(龍谷B)	準優勝	9 46"21
小南(滋賀経)	第4位	9 58"65
西川(滋賀教)	第3位	9 55"73



予選は2艇レース、スタートで出遅れたものの中盤で巻き返すことができました。初の対校として出るシングルレースと言うのもあり、落ち着いたレースができたとはお世辞にも言えない展開でしたが、2000mを漕ぎきるスタミナは確実に身に付いていると実感しました。しかし、決勝では逆にコンスタントの力不足を思い知らされました。今後は足りない技術力を補い無駄のない漕ぎを目指すとともに、より大きく力強いストロークを追及していきたいと思います。

整調 3回生 小南 文香

男子舵手付きフォア

11月3日 4+ 予選

クルー名	着順	2000m
同志社		6 56"71
山口大	3	7 10"55
龍谷大		7 04"36
滋賀経	4	7 14"67

11月3日 4+ 敗復

クルー名	着順	2000m
近畿大	3	7 46"01
滋賀経		7 38"75
岡山大「鷺羽2000」	2	7 42"15

11月4日 4+ 準決

クルー名	着順	2000m
滋賀経	3	7 20"56
岡山大「鷺羽」		7 00"59
阪大「八雲」		7 13"81

加古川レガッタで新人フォアは残念なことにはいい結果ではありませんでした。しかし、落ち込んでいた場合ではなく、ナックルで戦った他大学の選手達が今回かなりレベルアップしていたので自分は次はもっと成長してやるという気持ちを抱いています。そして、今行っている冬季練によって滋賀経に足りないといわれるパワーをつけるとともに、先輩方のご指導のもと漕技のレベルアップも目指しています。インカレー直線で頑張りたいと思います。

3番 1回生 古河 秀晃



## 第 60 回朝日レガッタ

会期:平成 19 年 5 月 3(木) ~ 6(日)  
 会場:滋賀県立琵琶湖漕艇場  
 主催:関西ボート連盟

## 成績

男子対校舵手つきフォア 準決勝進出  
 女子対校ダブルスカル 予選敗退

男子対校 舵手つきフォア 'Green Beret'	
Cox	粉川 智広 4
整調	中村 新吾 4
3 番	桑原 義章 3
2 番	渡辺 訓明 4
パウ	立道 晃樹 4
staff	根来 布美 4

女子対校ダブル '戴天'	
整調	百済 歩 3
パウ	山口さおり 4
staff	藪内 佑紀 3

アル・マーレにて平成 19 年度  
 陵水艇友会総会が開催され、  
 OBの方々が大勢観戦に来て下  
 さいました。



## レースタイム詳細

### 男子対校舵手つきフォア

5月3日 4+ 予選

	クルー名	着順	1000m
1	神戸製鋼 ハイテンス	5	4 02"78
2	京大医「紅駿」	棄権	
3	近畿大学		3 30"85
4	滋賀経		3 24"39
5	大阪大学		3 28"23
6	岡山大学「鷺羽」	4	3 31"60

### 女子対校ダブルスカル

5月4日 2x 予選

	クルー名	着順	1000m
1	大阪大学	6	4 12"97
2	三洋電機洲本		3 37"81
3	龍谷大学	3	3 54"67
4	滋賀経	5	4 04"83
5	岡山ボートクラブ	4	3 57"28
6	立命館大学		3 38"44

悪天候(雷)のため女子ダブルスカルの  
 敗者復活戦は中止

5月5日 4+ 準決勝

	クルー名	着順	1000m
1	岡山大学「天風」	6	4 04"16
2	龍谷大学 B	2	3 41"93
3	滋賀経	4	3 51"87
4	立命館大学		3 39"98
5	京都大学 B	3	3 44"70
6	山口大学	5	3 56"59



# 第 85 回全日本選手権大会

期日:平成 19 年 6 月 7 日(木)~6 月 10 日(日) (4 日間)

場所:埼玉県戸田市・戸田ボートコース

主催:社団法人 日本ボート協会



## 成績

## レースタイム詳細

### 男子対校舵手つきフォア 準決勝進出

### 男子対校舵手つきフォア

6月7日 4+予選

クルー名	着順	2000m
早大理工	2	7 21"67
北大	4	7 44"45
滋賀経	3	7 22"20
トヨタ		7 03"85

6月9日 4+ 準決勝

クルー名	着順	2000m
日大		6 57"90
中央大		6 56"53
仙台大	3	7 02"14
滋賀経	4	7 07"55

### 男子対校舵手つきフォア 'Green Beret'

Cox	粉川 智広	4
整調	渡辺 訓明	4
3番	桑原 義章	3
2番	川上 祐司	3
バウ	立道 晃樹	4
staff	中村 新吾	4

6月8日 4+ 敗復

クルー名	着順	2000m
滋賀経		7 12"23
警視庁	3	7 18"29
東京工大		7 10"27
北大	4	7 37"24



## 第 29 回全日本軽量級選手権大会

会期:平成 19 年 7 月 6(金)～8(日)  
 会場:埼玉県戸田市・戸田ポートコース  
 主催:社団法人 日本ボート協会

### 成績

男子対校舵手なしペア 6 位入賞

男子対校舵手なしペア 「柳王」		
整調	中村 新吾	4
パウ	桑原 義章	3
staff	根来 布美	4

### レースタイム詳細

#### 男子対校舵手なしペア

7 月 6 日 2 - 予選

	クルー名	着順	1000m	2000m
1	東京トヨペット		3 43"07	7 32"73
2	滋賀経	2	3 43"40	7 33"21
3	青山学院	5	4 13"87	8 33"51
4	日体大	3	3 48"96	7 40"07
5	成蹊大学			
6	Hong Kong China	4	3 54"02	7 53"92

7 月 7 日 2 - 敗者復活

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	立教 B	3	4 01"94	8 23"25
3	滋賀経		3 53"97	7 54"95
4	富山国際	2	3 53"00	7 58"25
5	北大	4	4 08"16	8 30"88

7 月 8 日 2 - 準決勝

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	滋賀経	4 Final B	3 48"08	7 43"06
3	明治安田	1 Final A	3 35"49	7 20"16
4	中央大 A	3 Final B	3 47"50	7 34"99
5	ひた市	2 Final A	3 41"62	7 32"93

7 月 8 日 2 - 順位決定

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	滋賀経	第 6 位	3 49"40	7 42"61
3	立命館	第 5 位	3 47"93	7 40"76
4	中央大 A	第 7 位	3 52"71	7 44"96
5	東京トヨペット	第 8 位	3 57"11	7 56"70

第 6 位入賞!!

小休止...



## 平成 19 年度関西選手権競漕大会

会期:平成 19 年 8 月 4(土)、5(日)

会場:大阪府立浜寺漕艇場

主催:関西学生ボート連盟

主管:大阪ボート協会



### 成績

男子対校舵手なしペア 第 3 位  
男子舵手つきフォア 準決勝進出

女子対校ダブルスカル 準決勝進出  
女子 2nd ダブルスカル 準決勝進出

男子対校 舵手つきペア 「柳王」		
整調	中村 新吾	4
パウ	渡邊 訓明	4
staff	がけ由布子	3

男子 2nd 舵手つきフォア 「Green Beret」		
Cox	森見 俊介	4
整調	桑原 義章	3
3 番	川上 祐司	3
2 番	立道 晃樹	4
パウ	石田 将之	3



女子対校ダブル 「戴天」		
整調	小南 文香	4
パウ	山口さおり	4
staff	粉川 智広	4

女子 2nd ダブル 「Limited」		
整調	木下 絢子	2
パウ	百済 歩	3
staff	根来 布美	4



### レースタイム詳細

#### 男子対校舵手なしペア

8月5日 2- 決勝

	クルー名	着順	1000m	2000m
1	京大 B	4	4 02"69	8 12"05
2	同志社	2	3 41"73	7 34"53
3	京大 A	1	3 43"80	7 33"55
4	滋賀経	3	3 40"51	7 38"63
5	広大「IOE」	5	4 09"66	8 38"18

#### 男子 2nd 舵手つきフォア

8月4日 4+ 予選 1 組

	クルー名	着順	1000m	2000m
1	同志社 B		3 25"41	6 58"17
2	岡山大 「桃太郎 02」		3 22"21	6 55"08
3	近大「絆」	4	3 27"79	7 09"16
4	滋賀経	3	3 28"87	7 03"66
5	浜寺 RC	5	3 29"94	7 10"27



8月4日 4+ 敗者復活

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	阪大	4	4 15"88	8 30"57
3	滋賀経		4 00"96	7 53"70
4	京大 B	2	3 59"11	7 54"48
5	関西学院	3	3 58"73	7 57"72



小南・山口(戴天)



8月5日 4+ 準決勝

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	山口大 「維新」	4	3 36"36	7 21"50
3	岡山大 「桃太郎 02」		3 26"48	7 02"59
4	神大 A		3 29"97	7 08"36
5	滋賀経	3	3 34"31	7 11"41

木下・百済(Limited)



女子対校ダブルスカル

8月4日 2x 予選

	クルー名	着順	1000m	2000m
1	関西学院	3	4 15"35	8 33"74
2	大阪市立	5	4 26"97	9 05"80
3	岡山大		4 08"02	8 19"50
4	神戸大	4	4 23"40	8 50"93
5	滋賀経 A		4 10"01	8 16"02

女子 2nd ダブルスカル

8月4日 2x 予選

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	山口大 「新司」	3	4 17"13	8 36"17
3	神大 A		3 56"05	8 02"77
4	滋賀経 B		4 10"63	8 25"86
5	瀬田 RC	4	4 17"95	8 36"46

8月5日 2x 準決勝

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	岡山大学 「霸月」	3	4 18"35	8 32"53
3	三洋電機 洲本		3 56"33	7 54"43
4	滋賀経 A	2	4 11"11	8 20"35
5	近大 B	4	4 39"05	9 08"50

8月5日 2x 準決勝

	クルー名	着順	1000m	2000m
2	滋賀経 B	3	4 20"19	8 38"27
3	京大 A		4 01"51	8 10"69
4	朱雀高 B	2	4 10"72	8 22"29
5	関西学院	4	4 26"69	8 52"00

## 第 34 回全日本大学選手権大会

会期:平成 19年 8月 23日(木)~26日(日)  
 会場:埼玉県戸田市・戸田ポートコース  
 主催:社団法人 日本ボート協会

## 成績

男子対校舵手なしペア 第 6 位  
 男子 2nd 舵手つきフォア 予選敗退  
 女子対校ダブルスカル 予選敗退

男子対校 舵手つきペア 「柳王」		
整調	中村 新吾	4
パウ	渡邊 訓明	4
staff	がけ由布子	3

男子 2nd 舵手つきフォア 「Green Beret」		
Cox	森見 俊介	4
整調	桑原 義章	3
3番	川上 祐司	3
2番	立道 晃樹	4
パウ	石田 将之	3

女子対校ダブル 「戴天」		
整調	小南 文香	4
パウ	山口さおり	4
staff	粉川 智広	4



## レースタイム詳細

## 男子対校舵手なしペア

8月23日 2 - 予選

	クルー名	着順	2000m
1	広島大	6	8 13"26
2	滋賀経		7 28"91
3	愛知工大	5	7 56"15
4	岐阜経	4	7 41"89
5	新潟大	2	7 29"57
6	龍谷大	3	7 36"59

## 男子 2nd 舵手つきフォア

8月23日 4+ 予選

	クルー名	着順	2000m
1	同志社		7 00"85
2	東京工大	6	7 39"46
3	山梨大医	4	7 13"28
4	東海大	2	7 09"89
5	近畿大	5	7 15"75
6	滋賀経	3	7 11"81

8月25日 2 - 準決勝

	クルー名	着順	2000m
2	早稲田		7 10"74
3	筑波大		7 23"36
4	滋賀経	4	7 32"08
5	東京経済	3	7 29"94



8月24日 4+ 敗者復活

	クルー名	着順	2000m
2	九州大学	3	7 53"18
3	日体大		7 29"64
4	滋賀経	2	7 37"06
5	岩手大学	4	8 24"18

8月6日 2 - 順位決定

	クルー名	着順	2000m
2	一橋大	3	7 29"38
3	日本大	1	7 24"90
4	東京経済	4	7 31"93
5	滋賀経	2	7 29"21



女子対校ダブルスカル

8月23日 2× 予選

	クルー名	着順	2000m
1	近畿大	3	8 06"70
2	滋賀経	5	8 17"30
3	東京大	4	8 15"90
4	一橋大	2	7 50"90
5	東京経済		7 41"60

8月24日 2× 敗者復活

	クルー名	着順	2000m
1	関西学院	5	9 03"51
2	山口大	4	8 40"79
3	龍谷大		8 06"79
4	富山国際		8 09"22
5	滋賀経	3	8 35"70



昨年の秋期より幹部になり、インカレ決勝進出ということを目指して取り組んできましたが、順位決定戦において6位ということになりました。ペアは関西選手権から漕いできましたが、なかなか思うようにいかなかったり、艇の故障などがあってと多くのことがありました。その中でも最後の大きな目標に向かい、取り組めたと思います。結果的には目標が達成できず、力不足がでてしまいましたが、順位決定戦の一橋と競り勝ったことはいい思い出になりました。最後になりましたが、応援に来てくださった多くの人に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

バウ 渡邊 訓明(4回生)

インカレを振り返って感じるの、悔しいという思い。先輩、後輩、そして同回生と様々な方々に支えられ、最後までやり続けることができた、その感謝の思いを、何か形にして残したかった。もう私には、自分の力でこの悔しさを晴らすことは出来ません。一緒に戦った後輩3人には大きな可能性を感じました。後輩たちが私の悔しさを晴らしてくれる日を楽しみにしています。応援ありがとうございました。

2番 立道 晃樹(4回生)

今回のインカレは私にとって初めての戸田であり、現役最後の試合でした。お互い同回生同士だけでの試合出場もまた初めての経験でした。そのため練習中はもちろん普段からお互いの考えを十分に確かめ合いながら試合に挑むことができました。そして力及ばず予選敗退という残念な結果とはなりましたが、それは私たちが弱かったとしっかりと受け止めることができ、またこのボート部生活で同じ目標に向かい約3年5ヶ月一緒にがんばってきた同士で最後の試合に出場できたことにもあり、心に残る大切な試合となりました。ボート部現役生活は私に大きな影響と貴重な経験を与えてくれました。よい結果を残すことが出来なかった漕ぎ手ではありましたが、それにもかかわらず今まで応援していただきありがとうございました。

バウ 山口 さおり(4回生)